

●1分で見える世界景気／2017年4月から見た5月動向

※政治イベント、地政学リスクを横目で見つつも世界景気は回復基調。日本は働き方改革等を通じてデフレ脱却ができるか？

欧州

**英国、6/8総選挙
与党保守優勢**

政治イベント、目白押し
・フランス大統領選挙5月
EU離脱の是非が争点に
・ドイツ総選挙 秋

独3月新車販売台数
+11.4% (前年同期比)

● **欧州中銀**
量的緩和継続
消費者物価指数 +1.5%

中国
2017年1-3月
GDP+6.9% (前年同期比)
→個人消費に陰り (自動車販売等)
→輸出振るわず
→不動産と投資偏重

※秋の共産党大会をにらみ、公共投資が増加か？

米国
トランプ政権
→法人税の大幅減税案公表
→外交で世界をリード
景気穏やかに回復
9月雇用増9.8万人、3月失業率4.5%
FRB
利上げ6月、9月が有力

トランプ政権の政策待ち
景気は小康状態

緩和マネー

緩和マネー

新興国 → 底堅く推移

- フィリピン2016年GDP+6.9%
- ブラジル/鉄鉱石等の復調で利下げ検討
- インド/高額紙幣廃止の景気減退薄れ始める
- オーストラリア/中国、インドの需要旺盛で鉄鉱石増産
- メキシコ/物価上昇で苦渋の利下げ

日本
景気拡大 (求人倍率1.45倍)
物価上昇+0.2% (生鮮を除く総合)
**労働力確保、生産性向上
を働き方改革等を通じ実現
できるか**

● **日銀**
金融緩和が量から金利へ
①短期金利 (-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定